




世界一 大きな 蓋 を作る仕事。

 イワテック株式会社
採用案内

世界一大きな蓋。

イワキテックの主力製品は「ハッチカバー」。

船の貨物を雨や波から守る「蓋」です。

「世界一大きな蓋」と言っても過言ではないでしょう。

船の蓋を作る会社だなんて、造船業界でもニッチな存在。

それでもハッチカバーは日本の物流の99%以上に関わる、

なくてはならない重要な存在です。

世界一大きな蓋は、こう見えて奥が深い。

開閉の仕組みは？強度は？どれだけ軽量化できる？製造の効率は？

などなど、考えるべきことは海のように広くて深い。

私たちのアイデアが
日本の物流を支える。

と言っても、やはり、過言ではないのです。

CHECK

大切な荷物が濡れてしまわないよう
守るのがハッチカバーの役割。
万が一波や雨で浸水するようなことになれば
大きな船が沈没してしまうことも！

CHECK

大きいものでは25m×20m！
テニスコート2面分と
同じくらいのサイズ。

データを見る イワキテック

ポンツーンタイプ
ハッチカバー
シェア
No.1

社員数
500名
※協力会社含む。

創業
1957年

造船市場は
80年間で
60倍
成長

貿易の輸送手段

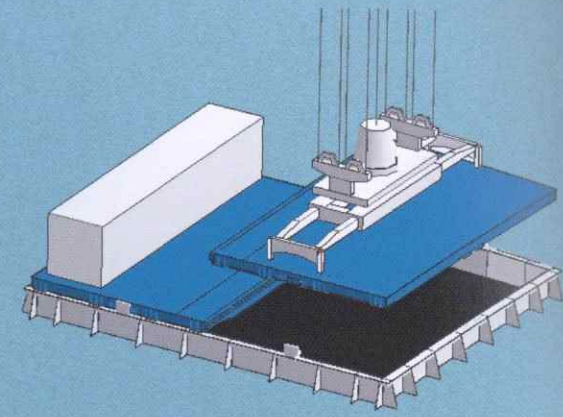
99.7%
船

平均
勤続
年数
16.5年

生産拠点
3拠点

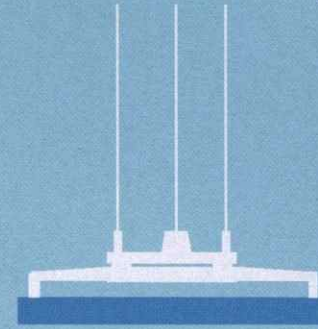
ハッチカバーの 3つのタイプ

イフキテックが製造している「ハッチカバー」は
船に積んでいる貨物を守るためになくはないもの。
船の種類や大きさによって大きく3つのタイプがあります。



[ポンツーンタイプ] 生産量 NO.1

箱状の荷物を運ぶ「コンテナ船」に用いられるハッチカバーです。ハッチカバーの上に最大で約1,000トンのコンテナがあることもあります。蓋の上にも貨物が積める「強度」が自慢!



設計に興味があれば
文系・理系は
問いません!

ハッチカバーが できるまで 設計編

船を守る巨大なハッチカバーができるまでには、
たくさんの方が関わっています。
ここではハッチカバーづくりの
プレーンとして活躍する
「設計」の仕事をご紹介します!

LET'S
GO!



STEP.1 「注文仕様書」の確認

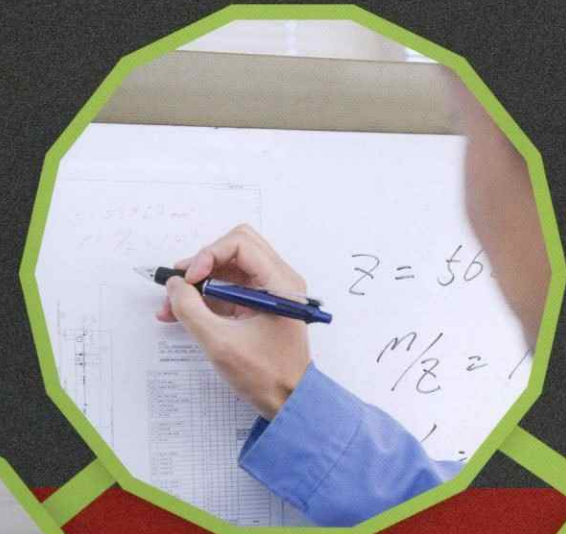
この条件でどんな工夫ができる?
造船所からハッチカバーの「注文仕様書」が届きます。設計にて簡条書きで指示されている開口サイズや重さ制限などを確認します。

2D・3D CADを
使って作図します。



STEP.2 「基本計画図」の作成

柔軟で自由な発想力に期待!
設計には「もっと強く」「もっと軽く」といった課題が山積み。ある程度はフォーマットに従って作図しますが、新たな視点、自由な発想、大歓迎です!



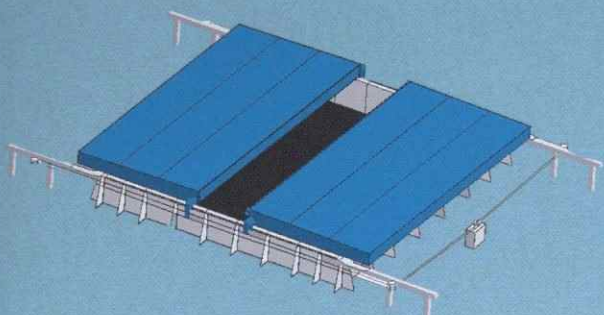
STEP.3 強度の解析

安全な設計が
できているか確認!
強度の計算はコンピュータを用いておこないます。強度の不足している場所は色で一目瞭然に!



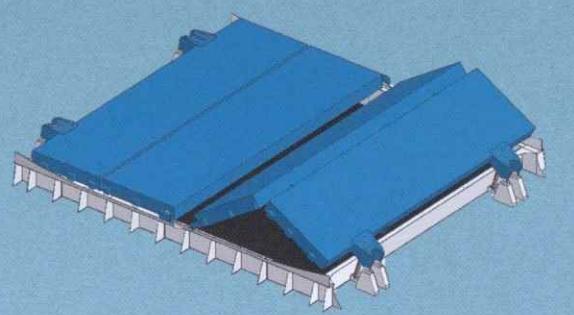
STEP.4 詳細部

大局を見な
強度はもちろ
できるか?とし
のが大きいもの



[サイドローリングタイプ]

穀物やセメントなどを輸送する「ばら積み貨物船」の中でも大型タイプに装備されるハッチカバー。ハッチの横にある油圧モーターでチェーンとワイヤーを引っ張り、カバーを開閉させます。



[フォールディングタイプ]

比較的小型の「ばら積み貨物船」で使用されるハッチカバーです。ハッチの端に設置した油圧シリンダーで、「ヒンジ」と呼ばれる連結部のあるハッチカバーを折りたたんで格納します。



お客様と地域、そして従業員に愛される企業へ。

トップメッセージ
伊ワキテックは1957年の創業以来、瀬戸内地方の地域産業として造船関連製品の製造をおこなってきました。
当社の経営理念は「愛」。
高い技術力と信頼でお客様に愛される、また地元企業として地域に愛される企業を目指しています。
伊ワキテックは今、企業としての若返りを図り、第二創業期を迎えています。
必要なのは若い力。新しく仲間になるみなさんが吹かせる、新しい風に期待しています。

代表取締役社長 山本 一郎

高い設計力を生かして

STEP UP! 開発の仕事

応用力が試される!
伊ワキテックの設計部門ではハッチカバーの設計の仕事だけでなく、より応用力・発想力が必要とされる「開発」も積極的におこなっています。



電動リフトブルデッキ



Ro-Ro装置



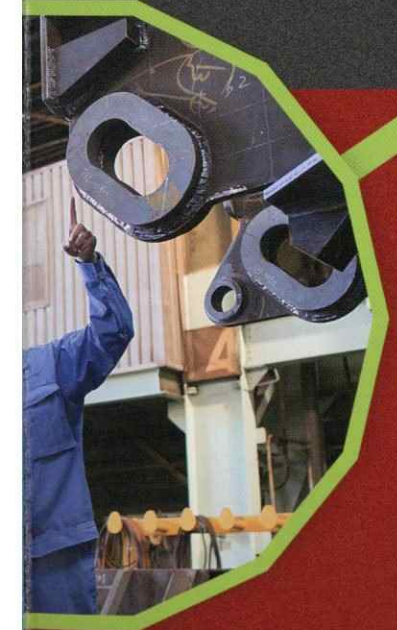
自分の作図

細部を詰める作業!
中に入って作業した製造工程のことも考えることの難しいところ。



STEP.6 完成

自分のアイデアが海に出る!
設計をはじめてから完成までは1年くらい、長ければ2年ほどかかることも。自分の設計がカタチになって、実用される感動は一度味わうと忘れられません!



STEP.5 製造 (現場との連携)

ものづくりのワクワクを間近で感じる!
製造をおこなう工場が社内にあることが伊ワキテックの強み。相談や変更などがあってもすぐに現場に駆けつけられます。(怒られたりしないから安心して下さい!)



先輩紹介 No.1



2001年入社 設計技術グループ 川上 隆宏

これから挑戦したいこと
伊ワキテックを、一目置かれる技術集団に。

造船業界の中でも技術力の高い設計部隊を持つ会社として認識されたいです。目標は、設計発信で既存概念を壊していくこと!自社製品に技術力で付加価値をつけて、会社の目玉製品にしたいです。新しい価値を生み出す技術集団になれるよう、若手の育成にも注力していきます!



先輩紹介 No.2



2008年入社 設計技術グループ 内野谷 和司

仕事のやりがい
イチから設計したものがうまく動いた!

電動リフトブルデッキという船への車両の積み下ろしに用いる装置の試験研究をしたときのこと。電動装置や制御装置などイチから設計する部分が多い案件でしたが、さまざまな検討を重ねてようやく完成。電源を入れて正常に作動したときは設計をやって良かったと感激しました!



ピンチのときは助け合おう!
わからないことはなんでも聞いてね!



イワキテックってどんな会社？

イワキテックにはまっすぐ仕事に取り組むまじめな面と、ワイワイとイベント好きな面が共存。
仕事は全力で、遊ぶときも全力で。このメリハリがイワキテックらしさかもしれません。

家族も一緒に
大盛り上がり！

ファミリーフェスタ



いつも従業員を支える家族に感謝！

イワキテックの従業員たちが毎日仕事をがんばるのは、家族のサポートがあるからこそ。日頃の感謝の気持ちを込めて、BBQやビンゴ大会などで盛り上がります！

カイゼン提案報告書



よりよく
していけます！

業務改善のアイデアが光る！

イワキテックでは従業員からのカイゼン提案がたくさん出されます。実際に成果のあった提案は社内報でみんなに共有！

造船鉄工祭



やってみよう！

イワキテックの仕事をもっと知ってもらおう！

因島工場の一部を一般開放し、工場見学やワークショップ、マルシェなどを開きました。ぎょう鉄体験に子どもたちも大喜び！

水軍まつり 小早レース



チームワークには
自信あり！

毎年夏の恒例行事！

因島工場のメンバーでチームを作り毎年出場している水軍まつり小早レース。チームワークの見せどころです！

企業概要

会社名 イワキテック株式会社
 本社・本社工場 〒794-2410 愛媛県越智郡上高町岩城6017番地
 TEL(0897)75-2121(代) FAX(0897)75-3157
 因島工場 〒722-2198 広島県尾道市因島重井町474番地の7
 TEL(0845)25-1145(代) FAX(0845)25-1370
 向島工場 〒722-0073 広島県尾道市向島町111番地
 TEL(0848)20-6040(代) FAX(0848)20-6045
 資本金 8,580万円
 社員数 500名(協力会社含む)
 営業品目 [舶用関連製品] ハッチカバー / リフトブルデッキ / 各種Ro-Ro装置 /
 船体ブロック / 上部居住構造物 / 各種船舶装置



[陸上機械関連製品] 連絡橋 / ドックゲート / コンテナクレーン / 鉄骨橋梁 / その他大型製品
 [建設業(愛媛県知事認可)] 建設工事業 / 鋼構造物工事業 / 塗装工事業 / 管工事業 / 土工事業 / 水道施設工事業

エントリー待ってるよ~!

採用情報

[募集職種] 設計開発 / 生産管理 / 総務
 [勤務地] 本社工場 / 因島工場 / 向島工場 (設計開発で採用の場合は因島工場に配属されます。)

